

<第 25 回 利益相反管理委員会(2022 年 6 月 8 日開催)>

報告・審議テーマ	✓ 「コード・オブ・コンダクト(仮称)の策定」について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コード・オブ・コンダクトの策定にあたっては、わかりやすさを意識した見せ方が重要 ✓ 持株会社と各グループ会社との間には距離があることを想定し、今後の展開においては、グループ会社への丁寧な説明が大事。グループ会社やその社員に対してフィデューシャリー・デューティーを浸透させてきた経験を本件取り組みにも活かしていければ良い ✓ 当グループの最大の特徴は信託銀行グループであること。その特色を示すことは大事 ✓ フィデューシャリー・デューティーなど信託銀行らしさを入れていくことが重要
対応状況	✓ 意見を踏まえ、浸透施策の工夫や信託銀行グループとしての特徴を表現する等検討する

報告・審議テーマ	✓ 利益相反管理・情報管理等態勢の整備・高度化について(銀証ファイアウォール規制への対応状況、三井住友トラスト・グループの利益相反管理方針(概要)の改定)
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 銀証ファイアウォール規制緩和の有無に関わらず、Need to know 原則や利益相反管理の態勢整備を進めることが必要。優先度に応じて検討を進めていくという方向性で良い ✓ Need to know 原則の適用については、グローバルでは正当な、あるいは合理的な理由がある場合に限定されており、今後の金融庁の Q&A 等も参考に対応を検討されたい ✓ 事業再編を踏まえ、信託銀行グループとして様々なサービスを提供していく中で、利益相反管理の重要性は一層高まっていく。その取り組みをわかりやすく明確に表現し開示することは良い
対応状況	✓ 金融庁の Q&A、他社状況等も踏まえ、Need to know 原則の明確化等図っていく

報告・審議テーマ	✓ 当グループのフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針等の改定について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現状の取組方針等の課題を認識し、必要な取り組みが実施されている。図表などを用いる等、よりわかりやすい内容になっている ✓ 認知症の問題等、高齢化に係る諸問題が進展していくなか、信託銀行としてどのような商品・サービスを提供できるかを検討する必要がある。その際、高齢化が想定以上の速度で進展していることに留意されたい ✓ 消費者志向自主宣言を採択している企業において、金融機関のなかでも大手行クラスは当社くらいだということもあり、アピールしていくべき

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利益相反管理方針(概要)の改定においては、今般、投資家事業の設置を踏まえた記載の追加を行っているが、フィデューシャリー・デューティーに関する取組方針やこれを踏まえた行動計画を見る限り、機能別方針や行動計画そのものへの特段の記載は見つけることができない。取組方針等にも記載を加えるのがふさわしい
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 認知症等の社会課題は極めて速く拡大しており、信託銀行グループとしてそれらに対応すること、また SuMiTB 投資家事業の設置を踏まえた記載の追加を検討し、取組方針に文章を追記する

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 対顧品質管理高度化の取り組み状況について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ お客さまアンケートの基本的な問題として、取引に至ったお客さまから回答いただいていると「満足した」との評価になりがち。本当は当社との取引に至らなかったお客さまの声こそ聴きたいもの。直接確認するのは難しいかもしれないが、様々な方法を組み合わせる等工夫が必要 ✓ 本件については常に高度化を目指して取り組まれており、かなり進化している印象。一方で、よりきめ細かな・複雑な KPI 策定や意義浸透のための情報発信などが行われるあまりに、情報を受け止める側、現場や関係会社において全体像が把握しにくくなり、困ることにならないよう留意されたい ✓ 社員意識調査の結果を踏まえても、社内への浸透が引き続き課題。なにより社員の参画意識の醸成が必要
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意見を踏まえ、アンケート以外の方法で収集している声も活用し分析深めるものとする

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2021 年度下期 利益相反管理・顧客保護等管理の状況について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2021 年度下期における利益相反管理事案や高度化対応等トピックスおよび利益相反管理・顧客保護(顧客説明)管理状況を報告

報告・審議テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当グループのお客さま本位の業務運営に係る取り組みについて(フィデューシャリー・デューティー協議会の実施)
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下を書面にて報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ関係会社の FD 推進に係る意見交換、監督指導を目的とした FD 協議会を 3 月に実施 ・ 各社のお客さま本位に係る取り組みを共有。リスク性金融商品販売におけるお客さま本位の業務運営の状況、運用会社における資産運用業高度化の方向性等について意見交換

報告・審議テーマ	✓ 2022 事務年度利益相反管理委員会の活動テーマについて
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 利益相反管理委員会の 2022 事務年度活動テーマについて以下の内容を審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会自己評価に基づく課題認識や取締役会運営方針等を踏まえ、活動テーマを以下のとおりとすること ① グループ・業容の拡大や新中期経営計画の立案を見据えたグループの利益相反管理 ② 信託銀行グループとしての顧客の最善の利益 ③ 信託銀行グループの特性を踏まえたリスク管理(リスク委員会と連携)

<第 26 回 利益相反管理委員会(2022 年 7 月 19 日書面開催)>

報告・審議テーマ	✓ 2022 事務年度 利益相反管理委員会の諮問事項および活動テーマ等について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 取締役会からの諮問事項等を踏まえ、2022 事務年度の委員会活動方針等につき審議 ✓ お客さまの利益や受託者責任の精神が色濃く含まれていて良いとの意見。委員会活動テーマおよび開催スケジュール、審議事項案につき承認

以上